

## ◆SS リテラシー～数学・生物～

11 月 6 日（月）に行われた SS リテラシー（理数科 1 年）の様子をお届けします。

### 数学分野～統計、公式・定理～

「かき氷が売れる日は水難事故がよく起こる」「ミルクティーはミルクから入れた方が美味しい」噂話のようですが、これらは統計学的に証明されています。1 時間目は**統計**について、2 時間目は内接正  $n$  角形などの図形や  $4 \times 4$  チェス盤（パズルゲーム）を用い**公式や定理**についてグループワークをしました。

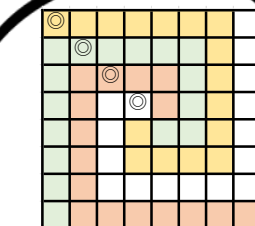


疑似相関といって、相関関係はあっても因果関係がないことがあるということがわかった。来年 SSH の研究で 2 つのものを比較するときはその 2 つに因果関係があるかどうかをしっかりと確認することが大切だなと思った。

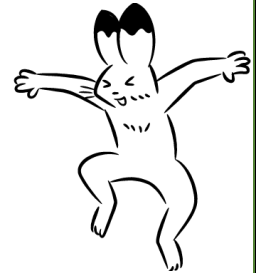
「ミルクティー」の統計では、おいしさの基準は人それぞれなのにどのようにして数値化して証明できるのか疑問に思った。

公式や定理を求めるには形や見方を変えるなど柔軟な発想が必要だと気づきました。

意外なところに公式が隠れていて面白かった。身の回りに他にもどんな公式があるのか調べてみたい。



8×8 チェス盤の答えだよ!



### 生物分野～進化～

生物分野では「人類の進化と港川人」について、進化の過程やなぜホモサピエンスは生き残ったのか等、グループワークを通して考えていきました。



現代に近づくにつれて脳容積が大きくなっていることから、現在の脳容積より大きくなることはあるのか疑問に思った。

ネアンデルタレンシスの頃から心を持っていて、その証拠に亡くなった人を墓に埋めていたと知りとても驚きました。

ネアンデルタール人が絶滅してしまった理由を考えたとき、いろいろな考えが出てきて面白かった。

ヒトの身体の特徴などは骨だけでなく、周りの環境や化石などからも調べることができることに面白さを感じました。